



市長 佐藤 和幸

新 年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年中は、本市の議会活動や市政の推進に対し、格別なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本年も、更なる市民福祉の向上と市政発展のため全力で活動を展開し、併せて、新しい議会運営と議会改革等の推進に努めつつ、市議会としての職責を果たして参る所存でございます。

さて、昨年の本市議会は、インターネットを活用した本会議のライブ・録画中継をスマートフォン等の携帯端末から視聴できるシステムに更新すると共に、議会だよりを一新して、市民に分かりやすい議会を目指して参りました。

また、基地問題においては、全会一致で議決された米軍人等に起因する事件・事故に対する抜本的な再



市長 浦間 俊之

明 けましておめでとうございませう。市民の皆様には、健やかに令和2年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、市政運営に対し、あたたかいご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。本市の喜納翼選手も、今春開催予定の世界選手権で上位入賞しますと、東京パラリンピック代表候補選手として内定します。喜納選手の活躍を大いに期待しております。

昨年を振り返りますと、10月の消費税増税に合わせて幼児教育・保育の無償化が始まりました。

天願幼稚園と平敷屋幼稚園の2園が新たに、公私連携型の認定こども園としてスタートし、市立保育所幼稚園の主食費と給食費助成も始まりました。子育て世帯の負担を軽減し、全ての子どもたちが質の高い教育を受けられるよう取り組んで

発防止策や津堅島訓練場水域におけるパラシュート降下訓練の中止を求めること等について、基地対策特別委員会は、防衛省に赴き直接要請書を手交して、議会の強い意志を伝えております。

昨年10月、幼児教育・保育の無償化がスタートしましたが、本市では、子育て支援事業をはじめ、健康福祉事業や教育施設整備事業並びに都市計画整備事業など、行政全般において、各種施策が推進されております。

2018年度の沖縄県の入域観光客数が1千万人を超え、6年連続で過去最高を更新しております。観光振興は、うるま市の経済活性化にとっても、重要な施策であり、今後とも推進しなければならぬと考えております。

こうした中、大型事業の勝連城跡周辺整備事業が進められており、昨年は、歴史文化施設の建設が始まり、本年は、観光ターミナルの整備が予定されており、本市の観光拠点施設として、期待するものであります。

また、島しょ地域振興においては、情報通信格差の解消を図るための、「超高速ブロードバンドサービスの環境整備」をはじめ、コミュニティ活動や災害時の避難拠点施設として「宮城島コミュニティ防災センター」の整備などが推進されており、本市の均衡ある発展につながる

青少年につきましては、ケンケン体操・トランポリンクラブの全国大会での活躍や、具志川中学校吹奏楽部の「マーチング全国大会」での銀賞獲得、「宜名真幸大さん(赤道小5年)」の「全日本珠算選手権大会」での小学生日本一、「南風原地域の子ども達」が中心となって企画した「勝連城復活プロジェクト」が「地域イベントアワード」で最優秀賞を受賞、「アミークスインターナショナル小学校チーム」が「ロボットコンテスト」で全国制覇するなど、目覚ましい活躍がありました。

米軍の事件・事故につきましては、県内では本島東海岸の海上に、ヘリコプターの窓を落下させる事故がありました。また、本市津堅島沖でのパラシュート降下訓練も、再々の中止要請にもかかわらず、強行されていることは到底容認できるものではありません。

日米両政府に訓練の中止と事故の再発防止を強く求めたいと思っております。

勝連城跡につきましては、2000年の世界遺産登録後の入城者数が1月9日に200万人を突破しました。

「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つでもある首里城跡は、昨年10月31日の大規模火災により「正殿」などの主要な建物が全焼しました。

ものご期待しております。

いよいよ、本年は、東京オリンピックと東京パラリンピックが開催されます。その中で、うるま市出身の喜納翼選手が東京パラリンピック出場につながるワールドカップ代表選考の出場権を獲得しており、喜納選手の大活躍が期待されております。

結びになりますが、本市議会は本年も「市民が夢と希望を持てる魅力あるうるま市」の実現のため、市民福祉の向上をはじめ、経済振興や地域活性化、そして、安心・安全なまちづくりを全力で取り組んで参りますので、市民の皆様のお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が市民皆様にとりまして、ご健康で素晴らしい幸多き一年でありますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

うるま市としても、首里城の1日も早い復旧・復元に向けて県や関係団体と連携し支援していきたくと考えております。

島しょ地域の振興対策として、光ブロードバンドサービスの提供を開始しました。情報通信環境の整備により、新たな働き方も可能となり、なお一層、島しょ地域への移住・定住が促進されるものと期待しております。

本市の闘牛は、古くから市民に親しまれ、地元根付いた文化として広く認知されています。昨年のうるま祭り闘牛大会で「闘牛のまち」宣言をしました。これまでに以上に観光振興などで活用し、闘牛の魅力内外に発信していきたいと思っております。

昨年は皇位継承に伴う改元が行われ、新しい元号「令和」がスタートしました。令和の時代が、市民の皆様にとり、希望に満ち溢れた時代となり、ますます、新年も「市民協働によるまちづくり」をスローガンに、職員共々市政運営に取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が、市民の皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

謹賀新年